

◆ 2024 年度 一般社団法人日本臨床発達心理士会東京・山梨支部 活動報告 ◆

1. 総会の実施

規定に基づき、2024 年 5 月に総会を開催した。士会全体の決算報告説明、支部名変更、支部名変更に伴う支部規約変更について承認された。また、2023 年度の活動報告、2024 年度の活動計画と予算案の報告を行った。定足数に満たず仮総会となったが、公示 2 週間を経て仮総会での決定が有効となった。

2. 研修会・研究会等の開催

2024 年度は、資格更新研修会とネットワーク研修会を各 2 回ずつ実施した。

第 1 回 資格更新研修会	2024 年 5 月 19 日（日） 「文化芸術の鑑賞を通じた発達支援」 鈴木 忠氏（白百合女子大学教授） 一條 彰子氏（国立アートリサーチセンター・ラーニンググループ・グループリーダー） 原 泉氏（国立アートリサーチセンター・ラーニンググループ・研究員） 88 名参加
子育て・発達支援 ネットワーク 研修会	2024 年 11 月 10 日（日） 「児童発達支援センターにおける合理的配慮の実践」 伊藤 仁氏（うめだ・あけぼの学園 発達支援部） 53 名参加
第 2 回 資格更新研修会 （ライブ＋オンデマンド配信）	2025 年 1 月 11 日（土）ライブ／2 月 21 日（金）～3 月 10 日（月）オンデマンド 「子どもの権利を擁護する支援活動～子どもの人権救済の現場から～」 坪井 節子氏（坪井法律事務所代表・弁護士） 66 名参加（ライブ）＋135 名参加（オンデマンド）
特別支援教育 ネットワーク 研修会	2025 年 2 月 16 日（日） 「発達障害のある方が社会に出てから直面する問題と、それを回避するために必要な教育・支援～講演と演習（就労アセスメントツール「BWAP2」）～」 梅永 雄二氏（早稲田大学 教育・総合科学学術院教授） 高橋 幾氏（早稲田大学非常勤講師） 47 名参加

3. ネットワーク作り

共通する領域・職域に関わる会員同士が情報交換や研修会を行うことで、会員相互の交流と研鑽を深めていくため、引き続き下記のネットワーク活動（主として研修会）を行った。

（ア） 特別支援教育ネットワーク：特別支援教育に関わる教員を中心としたネットワーク

（イ） 子育て・発達支援ネットワーク：乳幼児期の子育て支援、発達支援に関わる臨床発達心理士を中心としたネットワーク

（ウ） 発達臨床研究ネットワーク：発達臨床や発達臨床についての基礎研究に関わる人、または関心のある人を中心としたネットワーク

4. ホームページの運営

ホームページを運営し、支部の活動についての情報提供、研修会案内、ネットワーク活動のサポート、全国士会や他支部へのリンク掲載を行った。

5. 災害支援

日本臨床発達心理士会「災害支援委員会」に参加・協力し、情報共有を行った。

6. 危機支援

今年度は、＜国内の子の引き渡し執行補助者＞への協力依頼はなかった。

7. 日本臨床発達心理士会への参加・協力

日本臨床発達心理士会社員総会等に代議員が出席し、情報共有、発信、提案等を行った。

8. 東京特別支援教育教室巡回相談心理士関連 4 資格連絡会への参加・協力

今年度は、東京特別支援教育教室巡回相談心理士関連 4 資格連絡会への参加・協力依頼はなかった。